

# 事業概要 第10号

平成19年度



ドリアス

富山県中央植物園

# 目次

## 平成 19 年度 事業概要

### 目次

#### I 庶務

1. 沿革.....	1
2. 整備概要.....	1
3. 利用案内.....	2
4. 組織.....	3
5. 招聘客員研究員.....	4
6. 講師等派遣.....	4
7. 委員等.....	5
8. 研修生等の受入.....	5
9. 行政バス.....	6
10. 植物公園ネットワークの活動.....	6
11. 園内電気自動車の運行.....	6

#### II 植物管理事業

1. 収集植物現況.....	7
2. 新規導入植物.....	8
3. 分譲植物.....	9

#### III 教育普及事業

1. 催事記録.....	10
2. 団体来園者への教育支援活動.....	13
3. 印刷・出版.....	15
4. 新聞・雑誌等への寄稿.....	15
5. 新聞記事.....	15
6. 北陸中日新聞動物園植物園リポート.....	16
7. 取材対応.....	16
8. リファレンス(質問対応)状況.....	16
9. 公的団体等からの同定依頼.....	16
10. 写真の提供.....	16

#### IV 資料収集事業

1. 標本資料現況.....	17
2. 文献資料現況.....	17
3. 植物画資料.....	17

#### V 調査研究事業

1. 研究体制.....	18
2. 研究課題.....	18
3. 外部資金導入による調査研究.....	18
4. 他団体等との共同研究.....	18
5. 依頼調査.....	19
6. 研究報告 13 号.....	19
7. 平成 19 年度研究発表.....	19
8. 著書・論文・学会発表等.....	19

#### VI 友の会・ボランティアの活動

1. 事業.....	22
2. 部会の活動.....	22
3. 会員数.....	23

#### VII 参考資料

1. 施設概要.....	24
2. 施設平面図.....	25
3. 整備事業費.....	26
4. 利用統計.....	27
5. 例規.....	29

#### VIII 栽培記録

1. 初めて開花結実した植物.....	32
---------------------	----

#### 愛称 ドリアス

「ドリアス」は、ギリシャ神話に出てくる「森の精」の意味。また、富山県の立山で最初に発見されたチョウノスケソウの属名 (*Dryas*) でもある。

シンボルマーク(右図)平成 10 年 2 月、公募によって決定。

いろいろな植物の葉を集めて人の姿を表現したもの。見方によっては「大」の字や花の形にも見え、中央の二つの葉柄が女性の目のようにも見える。



# I 庶務

## 1. 沿革

富山県では県内の優れた植生地や公園・緑地などをそれぞれ特色のある専門植物園として整備し、これらをネットワーク化することにより、県土全体として一つの植物公園の形成をめざす全国的にもユニークな「富山県植物公園構想」を推進している。

「富山県中央植物園」は、この植物公園ネットワークの核となる施設として平成元年から整備が進められ、平成5年10月1日に屋外展示園を開園し、その後、展示温室やサンライトホール、中国雲南省の植物と「石林の石」を配した雲南コーナー等を整備して平成8年4月26日に全面開園した。平成10年10月には中国雲南省から導入した植物を育成・展示するための「雲南温室」の建設が始まり、平成12年2月18日に完成、一般公開された。平成14年9月10日には憩いの場や学習の場として多目的に利用可能なドリアスホールの建設に着工し、平成15年3月14日に完成した。

## 2. 整備概要

昭和58年4月	「富山県民総合計画」において植物公園設置の検討
昭和60年2月	「富山県グリーンプラン」において植物公園設置の計画提示
昭和60年7月	「富山県植物公園構想懇談会」設置
昭和63年12月	同懇談会において「富山県植物公園基本構想」策定
平成元年6月	「富山県植物公園整備委員会」設置
平成元年11月	同委員会から「富山県植物公園について」報告 (中央植物園・専門植物園の機能分担、整備方向、候補地等)
平成2年3月	富山県中央植物園設計競技
平成2年8月	基本設計
平成3年5月	造成工事起工式
平成5年10月	開園(屋外展示園公開)
平成7年9月	建築工事定礎式
平成8年4月	全面開園(展示温室公開)
平成8年5月	中国科学院昆明植物研究所と友好協定調印
平成10年8月	全面開園後の入園者30万人達成
平成10年10月	雲南温室着工
平成12年2月	雲南温室完成
平成12年10月	中国科学院昆明植物研究所と共同研究に関する合意書調印
平成13年4月	開園後の入園者50万人達成
平成14年9月	ドリアスホール(多目的小ホール)着工
平成15年3月	ドリアスホール完成

(1) 所在地 富山県富山市婦中町上轡田 42

(2) 敷地面積 24.5 ha

(3) 主要施設

・管理研修棟	1棟	1,310㎡
・展示温室(熱帯雨林植物室、ラン温室、熱帯果樹室、高山植物室、雲南温室)	5棟	2,713㎡
・栽培温室(熱帯温室、暖温帯室、温帯温室、冷室、雲南温室他)	5棟	1,077㎡
・サンライトホール・エネルギー棟	1棟	1,614㎡
・ドリアスホール	1棟	155㎡

(4) 栽培植物 約4,700種類、98,278本(株) (※種類数は重複分を除いた数)

・屋外展示園	約1,954種類
・展示温室内	約1,245種類
・栽培温室・圃場	約3,100種類

(5) 整備期間および事業費

期間	整備内容	事業費	備考
平成元年～7年度	施設整備、植栽等	9,242	地域総合整備事業債 (ふるさとづくり事業)
平成10年～11年度	雲南温室	204	ふるさと環境整備事業
平成14年度	多目的小ホール(ドリアスホール)	40	木材産業経営革新公共施設 等整備事業

単位：百万円

3. 利用案内(平成18年4月1日現在)

- (1) 開園時間 午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)  
冬季(11月～2月)は午前9時～午後4時30分、入園は午後4時まで
- (2) 休園日 毎週木曜日(木曜日が国民の祝日の場合は開園)、および12月28日～1月4日
- (3) 入園料

区分	個人	団体(20人以上)
大人	600円	480円
小人(高校生以下)	無料	—

- 入園料等取扱要領(全額免除) 平成5年9月制定、平成14年3月28日改正、平成17年4月1日改正

- ① 幼稚園、小中高校等の引率者が教育活動又は社会教育関係団体の教育活動として入園するとき。
- ② 児童福祉施設、身体障害者更生援護施設、知的障害者援護施設に入所している者並びにこれらの引率者が入園するとき。
- ③ 身体障害者手帳の所持者及びその付添者が入園するとき。
- ④ 療育手帳を所持する者及びその付添者が入園するとき。
- ⑤ 精神障害者保健福祉手帳の所持者及びその付添者が入園するとき。
- ⑥ サクラ観賞日に入園するとき。

(4) 交通機関

● バス利用

- ・富山地铁バス  
JR富山駅：6番乗場  
ファボーレ経由萩の島循環線  
中央植物園口停留所下車、徒歩約12分

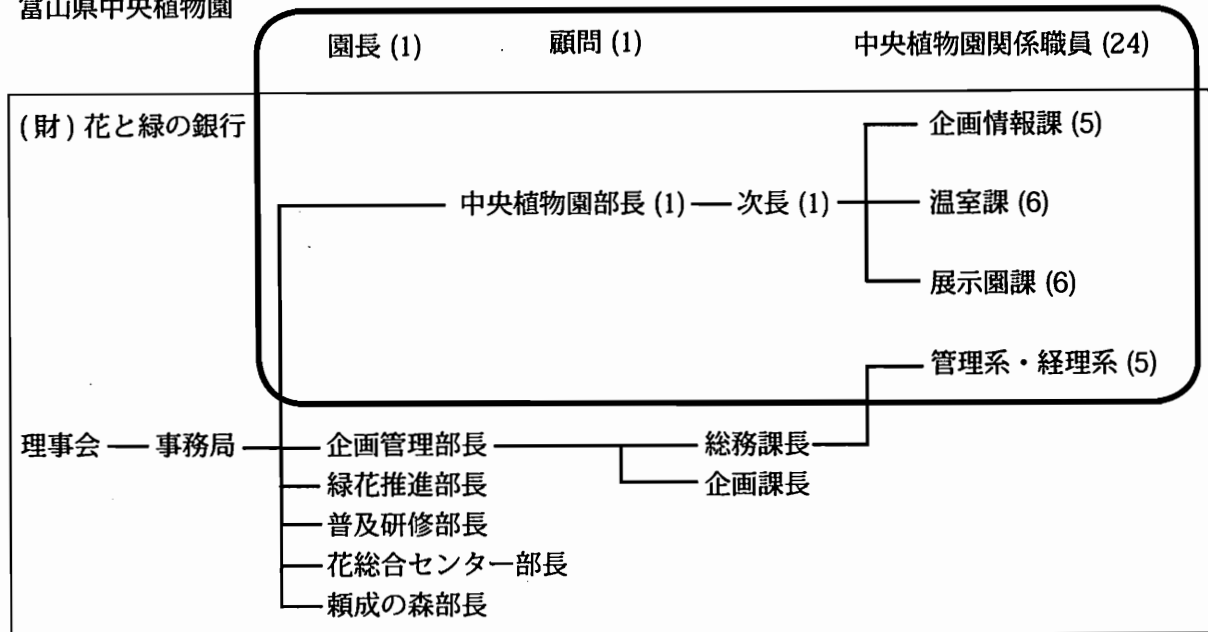
● 自動車利用

- ・富山市中心部より約15分
- ・北陸自動車道富山インターより  
婦中大橋経由約15分
- ・JR速星駅より約8分

4. 組織

(1) 組織図

富山県中央植物園



(2) 職員

富山県中央植物園

園長	内村悦三
顧問	黒川 遼

(財) 花と緑の銀行 中央植物園部

部長 (温室課長兼務)	加藤治好	県派遣職員 (主幹)
次長 (展示園課長兼務)	野村光蔵	県派遣職員 (主幹)
企画情報課 課長	中田政司	県派遣職員 (副主幹研究員)
主任研究員	神戸敏成	県派遣職員 (主任研究員)
主任	吉田めぐみ	
主任	大原隆明	
主任	志内利明	
温室課 副主幹研究員	塩谷佳和	県派遣職員 (副主幹研究員)
主任	橋屋 誠	
主任	兼本 正	
技師	石黒裕崇	県派遣職員
業務技師	栗林信夫	
展示園課 副主幹研究員	山下寿之	県派遣職員 (副主幹研究員)
主任	高橋一臣	
専門員	西村正史	
業務技師	桐林浩二	
業務技師	浅野 豊	

(財) 花と緑の銀行 企画管理部

総務課 主事	恒川利一
(一部) 嘱託	吉田多仁子
嘱託	高木真由美
嘱託	武田尚子

5. 平成 19 年度招聘客員研究員

氏名	現職	指導分野	期間
山田 勇	京都大学名誉教授、 立命館アジア太平洋大学客員教授	世界の森の現状と未来	19.11.21 - 22
鳴橋直弘	富山大学名誉教授	植物分類地理学 ー日本海要素植物についてー	19.12.4 - 5

6. 平成 19 年度講師等派遣

年月日	氏名	内容 (依頼先)
19.4.15	大原隆明	第 15 回富山県ナチュラリスト城端大会「とやまのサクラ、南砺城端のサクラ」 (富山県ナチュラリスト協会)
5.19	中田政司	基礎生物学セミナー (富山大学理学部生物学科)
5.25	内村悦三	「竹のバイオマス活用と企業化への課題」 (社団法人中国地域ニュービジネス協議会、中国経済産業局)
6.6-7	塩谷佳和	有峰森林文化村「春の恵みの集い」(社団法人富山県農林水産公社)
6.8	内村悦三	「旬な筍の知識を得る」(富山南ロータリークラブ)
6.14	大原隆明	新川地区教養講座ふるさとに学ぶ「とやまのサクラ、新川のサクラ」 (富山県生涯学習カレッジ 新川地区センター)
6.23	内村悦三	「竹と人々の共生、そして地域利用」(呉羽丘陵 森の学校)
6.28	橋屋 誠	南砺市市民大学講座「とやまのキノコ」(南砺市教育委員会)
6.28	石黒裕崇	職業人講話講師 (富山県立南砺総合高校福野高校)
7.7	中田政司	「世界の薬用植物資源について」(財団法人ヒューマンサイエンス振興財団)
7.5	山下寿之	市民大学「里山の植生」(富山市教育委員会)
8.4	内村悦三	「竹文化の再生と創生」(豊田文化フォーラム、豊田市)
8.4	山下寿之、 志内利明	フォレストリーダー養成講座 (富山県農林水産部森林政策課)
8.24	志内利明	富山市小学校教育研究会第 5 区域教育課程第 1 学年部会研修会 (富山市小学校教育研究会)
9.27	中田政司、 橋屋誠、大原隆明	岩瀬浜保全調査 (富山市岩瀬古志町町内会)
9.24	吉田めぐみ	ナチュラリスト研修会 ((財) とやま環境財団)
10.5	内村悦三	「多いタケ (竹) と少ないタケ (茸) の背景を考える」 (市民フォーラム 日本菌学会・富山県)
10.5-7	橋屋 誠	日本菌学会フォーレ (日本菌学会)
10.11	中田政司、 山下寿之	南砺市岩木地区岩木ため池調査 (砺波農地林務事務所)
10.13	橋屋 誠	森林 (もり) と環境保全に関する養成講座 (NPO 森林総合支援センター)
10.14	橋屋 誠	キノコ狩りと観察会 (県民公園頼成の森)
10.17-18	橋屋 誠	有峰森林文化村「秋の恵みの集い」(社団法人富山県農林水産公社)
10.19	内村悦三	「タケの生態・管理と利用」(JICA プロジェクト研修 JICA 筑波)
10.20	内村悦三	「放置竹林対策と竹の有効利用」(鳥取県農林水産部)
10.20	橋屋 誠	きのこ観察会 (福井県朝日町立福井総合植物園)
11.4	中田政司	プラントピアセミナー (福井県朝日町立福井総合植物園)
11.6	神戸敏成	「お茶と珈琲の植物学」(射水市社会福祉協議会)
11.7	浅野 豊	グリーンキーパー研修「樹木管理の基礎知識『雪吊りと落葉樹の剪定』」 (富山県花総合センター)
11.10	内村悦三	「循環型社会におけるタケと竹の役割」(NPO 法人やまと新発見の会)
11.11	大原隆明	富山大学非常勤講師 総合科目特殊講義「地域と人間」(富山大学長)
11.17	浅野 豊	県民緑花オープン講座「庭木の手入れー剪定、雪囲い」(富山県花総合センター)
12.13	中田政司	部局専門研修「自然環境に配慮した緑化・植栽について」(金沢市)
20.1.19	大原隆明	日本樹木医会富山県支部第 12 回定時総会「富山県のサクラ」 (日本樹木医会富山県支部)
1.20	橋屋 誠	きのこの名前について (石川きのこの会)
2.16	吉田めぐみ	ナチュラリストいちよん会研修会 (ナチュラリストいちよん会丸山功)

7. 平成 19 年度委員等

氏名内容	依頼者
内村悦三 日本植物園協会評議委員 (平成 15 年度～)	(社) 日本植物園協会
内村悦三 日本植物園協会研究発表委員 (平成 15 年度～)	(社) 日本植物園協会
内村悦三 地球環境 100 人委員会委員 (平成 15 年度～)	地域環境関西フォーラム
内村悦三 竹文化振興協会 常任理事 (平成 15 年度～)	竹文化振興協会
内村悦三 京都竹文化振興財団 理事 (平成 15 年度～)	(財) 京都竹文化振興財団
内村悦三 日本竹協会 副会長 (平成 15 年度～)	日本竹協会
内村悦三 竹資源活用フォーラム 会長 (平成 15 年度～)	竹資源活用フォーラム
内村悦三 日本林業同友会 技術参与 (平成 15 年度～)	日本林業同友会
内村悦三 Journal of Bamboo and Rattan 編集委員 (平成 15 年度～)	国際機関 INBAR(在北京)
内村悦三 Bamboo Journal 編集委員長 (平成 15 年度～)	竹文化振興協会
内村悦三 富山市環境・バイオ委員会 委員 (平成 16 年度～)	富山市商工労働部工業政策課
内村悦三 富山市緑化審議会 会長 (平成 17 年度～)	富山市建設部公園緑地課
内村悦三 (財) 花と緑の銀行 理事 (平成 15 年度～)	(財) 花と緑の銀行
黒川 道 国立科学博物館筑波研究資料センター 筑波実験植物園運営委員会運営委員	独立行政法人国立科学博物館
黒川 道 (財) 服部植物研究所評議員	(財) 服部植物研究所
中田政司 植物地理・分類学会編集委員	植物地理・分類学会
中田政司 ナショナルバイオリソースプロジェクト 「広義キク属」運営委員会委員 (平成 15 年度～)	広島大学
中田政司 富山市文化財調査審議会委員 (平成 18 年度～)	富山市教育委員会
中田政司 富山県温暖化調査研究会委員	富山県環境科学センター
中田政司 染色体学会評議員・編集委員 (平成 19 年度)	(財) 染色体学会
神戸敏成 植物多様性保全委員会委員	(社) 日本植物園協会
橋屋 誠 菌学会フォーレ実行委員 (平成 19 年度)	菌学会
兼本 正 植物地理・分類学会監査委員	植物地理・分類学会

8. 平成 19 年度研修生等の受入

(1) 平成 19 年度博物館実習生

氏名	所属	期間
奥山 永	富山大学理学部生物学科	8 月 1 日～8 月 12 日
角谷裕幸	富山大学理学部生物学科	8 月 1 日～8 月 12 日
鈴木利之	富山大学理学部生物学科	8 月 1 日～8 月 12 日
鈴木公子	富山大学理学部生物学科	8 月 1 日～8 月 12 日
梶田百合	富山大学理学部生物学科	8 月 1 日～8 月 12 日
小林知春	富山大学理学部生物学科	8 月 1 日～8 月 12 日
鎌田直浩	富山大学理学部生物環境科学科	8 月 19 日～8 月 30 日
金田英敏	富山大学理学部生物学科	8 月 19 日～8 月 30 日
嘉津山亜紗美	富山大学教育学部学校教育教員養成課程	8 月 19 日～8 月 30 日
竹内志保	東京農業大学農学部農学科	8 月 19 日～8 月 30 日

(2) 平成 19 年度 教員研修会受講者 (平成 19 年 8 月 1 日～3 日)

氏名	所属	氏名	所属
庭田順子	黒部市立高志野中学校 (11 年次研修)	萩中一郎	富山県ふるさと養護学校 (6 年次研修)
田中倫子	高岡市立芳野中学校 (11 年次研修)		

(3) 平成 19 年度「社会に学ぶ 14 才の挑戦」受入

氏名	学校名	期間
早野太平、今井 耀	富山市立西部中学校	7 月 9 日～7 月 13 日
光地康平、田中大貴	富山市立速星中学校	7 月 9 日～7 月 13 日
高倉未来、宮村真璃乃	富山市立城山中学校	10 月 1 日～10 月 5 日

(4) 高校生の就業体験の受け入れ（平成 19 年 8 月 23 日～ 28 日）

富山県立中央農業高等学校 4 名 内容「植物の組織培養」

(5) 富山市適応障害児指導

植物の栽培指導など、植物園内にて年間 40 回実施。

(6) その他研修受け入れ

氏名	所属	内容	期間
小林那々緒	高知県立高知農業高等学校 ～竹の可能性を探る～	森林環境教育の手法に関する研究	19.4.9～9.30
Shimada, Masanobu	JICA研修生（ブラジル）	平成19年度JICA日系研修 「竹及び竹製品」	19.5.11～7.31

## 9. 平成 19 年度行政バス

(1) 富山市民バス

年月日	内容	人数
19.7.6	水橋東部ふるさとづくり推進協議会	45
7.20	堀川校下ふるさとづくり推進協議会	40

## 10. 植物公園ネットワークの中核施設としての活動

実施事項	期間
スタンプラリー	4/1～12/27（445人達成）
ポタニカルアート展	
花総合センター	4/22～5/6
南砺市園芸植物園	9/13～10/1
氷見市海浜植物園	11/3～11/26

## 11. 園内電気自動車の運行

4 月～ 6 月の毎日と 7 月～ 10 月の土、日、祝日に運行し、4,105 人が利用した。



## II 植物管理事業

### 1. 収集植物現況 (平成 20 年 3 月 31 日現在)

#### (1) 展示温室

展示温室区画	代表的な植物	種類数	個体数
熱帯雨林植物室	ビヨウタコノキ、ヘゴ、キョチク	450	1,500
ラン温室	カトレヤ、デンドロビウム、バンダ	238	2,200
熱帯果樹室	バナナ、パパイヤ、パイナップル	183	1,300
高山植物室	コマクサ、クロユリ、プリムラ類	289	900
雲南温室	トウツバキ、カンレンボク	85	200
計		1,245	6,100

#### (2) 屋外展示園

屋外展示園区分	区画エリア	種類数	個体数
世界の植物ゾーン		<u>1,339</u>	<u>33,940</u>
	ツツジ・シャクナゲ園、ボタン・シャクヤク園、香りの植物、繊維の植物、染めの植物、芝生広場、サクラ・ウメ園、花のプロムナード、クレマチス園、球根植物、雲南の植物、北米東部の植物、温室周辺、話題の植物		
日本の植物ゾーン		<u>1,072</u>	<u>25,838</u>
	シイ・カシの森、クリ・コナラの森、ミズナラ・ブナの森、沼沢・溪谷の植物、低地草原、山地草原、湿地の植物、ロッケリー、河原の植物、海岸の植物		
計		1,954	55,410

#### (3) 管理区域および園全体

屋外展示園区分	区画エリア	種類数	個体数
管理区域		3,100	32,400
	栽培温室、栽培圃場、駐車場、入口広場他		
植物園全体 (種類数は各エリア間での重複を除いた数)		4,700	98,278

#### (4) 屋外展示園で多くの品種を収集した植物

品種区分	代表的な品種	種類数	個体数
サクラ類	ソメイヨシノ、鬱金、八重紅枝垂	98	383
ウメ類	紅冬至、稲積、鹿児島紅	51	116
モモ類	寒緋桃、菊桃、源平枝垂	18	81
ボタン類	酒酔楊貴、島錦、冬至紅	86 - 2 = 84	271 - 8 = 263
シャクヤク類	美菊、花香殿、ボール・オブ・ビューティー	36 - 2 = 34	171 - 9 = 162
クレマチス類	カザグルマ、テッセン	187	208

## 2. 平成 19 年度新規導入植物

### (1) 個人、機関からの寄贈

年月日	寄贈者	導入植物
19.4.4	吉村洋子	デンドロビウム他 若干
4.5	長谷 馨	ミヤマシキミ 2 株
5.14	Shimada, Masanobu	<i>Butia eriospathe</i> , <i>Syagrus ramanzofiana</i> 各 1 株
6.14	松田林産	ムラサキイペ、キバナイペ 各 1 株
6.26	柴田昌三	<i>Melocanna baccifera</i> 2 株
7.19	森田直賢	チョウジソウ 50 株
9.5	木村安次郎	コアニチドリ 1 株
10.7	吉村洋子	デンドロビウム他 若干
10.1	石黒順子	エゾキツネアザミ 1 株
10.15	高柳謙治	ラッパズイセン 約 400 球
10.30	太田道人	フウラン、セッコク、ムカデラン 各 1 株
11.6	平尾かな	エッチェウミセバヤ、ヤマシャクヤク 各 1 株
20.1.9	研馬秀夫	マロニエ 1 株
3.13	浅野 豊	オオユズ 1 株

### (2) 平成 19 年度植物園協会種苗交換による導入

年月日	植物園	導入植物
20.2.27	昭和大学薬用植物園	チョウマメ種子若干、イナゴマメ 苗 1 株、ジャワニッケイ 苗 2 株
2.27	内藤記念くすり博物館附属薬用植物園	シコウカ 苗 2 株
3.1	箱根町立箱根湿性花園	ミズチドリ、ミズトンボ 種子若干量
3.31	日本新薬株式会社山科植物資料館	モロコシソウ 種子若干量
4.7	草津市立水生植物公園みずの森	サラノキ 苗 1 株

### (3) 種子交換による導入

年月日	植物園 (国名)	導入植物
19.2.9	ベルベデーレ高山植物園 (オーストリア)	<i>Leontopodium alpinum</i> など 25 種
3.3	コメンスキー大学植物園 (スロバキア)	<i>Acaena alpina</i> など 13 種
3.3	ブザンソン大学植物園 (フランス)	<i>Heracleum sphondylium</i> など 15 種
3.6	ベルリンーフンボルト大学植物園 (ドイツ)	<i>Ilex aquifolium</i> など 34 種
3.24	ロシア科学アカデミー極東支部植物園 (ロシア)	<i>Dendranthema coreanum</i> など 17 種
3.27	ゲーテ大学植物園 (ドイツ)	<i>Allium senescens</i> など 18 種
3.28	ラトビア大学植物園 (ラトビア)	<i>Pseudotsuga menziesii</i> など 20 種
4.24	ターリン植物園 (エストニア)	<i>Pinus mugo</i> ssp. <i>pumilio</i> など 30 種
6.11	ハンガリー科学アカデミー生態・植物学研究所植物園 (ハンガリー)	<i>Dryas octopetala</i> など 49 種
6.15	ラトビア国立樹木園 (ラトビア)	<i>Juniperus horizontalis</i> など 19 種
6.15	ラトビア国立樹木園 (ラトビア)	<i>Juniperus chinensis</i> など 19 種
6.27	高知県立牧野植物園	ジョロウホトトギスなど 4 種
7.23	リヨン植物園 (フランス)	<i>Begonia fenicis</i> など 25 種
9.16	コペンハーゲン大学植物園 (デンマーク)	<i>Bowlesia incana</i> など 24 種
10.30	マラカイ大学植物園 (ベネズエラ)	<i>Guaiacum officinale</i> 1 種
11.18	ボゴール植物園 (インドネシア)	<i>Alsomitra macrocarpa</i> 1 種

### (4) 自生地採集による導入

年月日	採集地	導入植物
19.12.13	富山県中新川郡立山町目桑	ミスミソウ、キバナイカリソウなど (苗) 5 種 304 株

3. 平成 19 年度分譲植物 (植物体の部分を含む)

(1) 個人、機関への分譲

年月日	分譲先	分譲植物	数量	使用目的
19.4.27	財団法人宮崎県産業支援財団	リュウケツジュ	若干	研究用
6.15	砺波市立出町中学校	ストロブマツ他数種	若干	研究用
6.2	佐藤幸生 (富山県立大学工学部教養教育)	カラフトハナシノブ	3	研究用
7.10	中国科学院昆明植物研究所	クリンソウ	若干	研究用
7.29	碓井光一	セイヨウフウチョウソウ	5	研究用
7.31	川原みなみ・勇輝	サザンカ、カンツバキ、 クチナシ、アセビ他	各葉 2 枚	研究用
9.7	山田充子 (日本新薬山科植物資料館)	ハクウンボク	3	展示用

(2) 19 年度植物園協会種苗交換による分譲

年月日	分譲先	分譲植物
20.3.19	宝塚ガーデンフィールズ	茶綿、緑綿 種子若干量
3.19	広島市植物公園	茶綿、緑綿 種子若干量
3.19	東京都夢の島熱帯植物館	茶綿、緑綿 種子若干量
3.19	日本新薬 (株) 山科植物資料館	緑綿 種子若干量
3.19	神戸薬科大学薬用植物園	茶綿、緑綿 種子若干量
3.19	越前町立福井総合植物園プラントピア朝日	茶綿、緑綿 種子若干量、アラゲツクサ 1 株
3.19	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園	茶綿 種子若干量、ブーゲンビレア 1 株
4.2	高知県立牧野植物園	ダルマキンミズヒキ 2 株、タニガワコンギク 2 株、 エッチュウミセバヤ 1 株、オニバス種子若干量

(3) 種子交換による分譲 (平成 18 年度カタログ)

年月日	配付先	配付種子
19.8.30	中央シベリア植物園 (ロシア)	ユキグニミツバツツジなど 2 種
8.30	ボゴール植物園 (インドネシア)	キササゲなど 3 種
8.30	ロシア科学アカデミー極東支部植物園 (ロシア)	バイカウツギなど 11 種
8.30	ラトビア大学植物園 (ラトビア)	タケニグサなど 4 種
8.30	ハンガリー科学アカデミー生態 ・植物学研究所植物園 (ハンガリー)	ウダイカンバなど 20 種
8.30	ベルリンーフンボルト大学植物園 (ドイツ)	ハクサンボクなど 3 種
8.30	コメンスキー大学植物園 (スロバキア)	クロガネモチなど 16 種
8.30	エジンバラ王立植物園 (スコットランド)	ツリガネニンジンなど 6 種
8.30	ベルベデーレ高山植物園 (オーストリア)	ハマハタザオなど 4 種
8.30	Mr. Stig Froberg, Fortum Oy (フィンランド)	イケマなど 18 種
8.30	コペンハーゲン大学植物園 (デンマーク)	ソバナなど 5 種
8.30	国立樹木園 (フランス)	ヤマウルシなど 19 種
8.30	ターリン植物園 (エストニア)	ウダイカンバなど 10 種
8.30	クォリーヒル植物園 (アメリカ)	ミヤマカワラハンノキなど 20 種
8.30	ラトビア国立樹木園 (ラトビア)	ヤマモミジなど 18 種
8.30	ポリーヒル樹木園 (アメリカ)	オガラバナなど 13 種
8.30	ホーウィック樹木園 (イギリス)	キキョウなど 4 種
9.7	台湾植物園 (中国)	シラキなど 4 種
20.3.27	リヨン植物園 (フランス)	ミズなど 17 種

### III 教育普及事業

#### 1. 平成 19 年度催事記録

##### (1) 特別開園 (\*は無料開園)

催事名称	開催日時	開催場所	入園者数
ソメイヨシノと夜桜観賞*	4/4(水)～7(土) 9:00～21:30	屋外展示園	37,798
夜間開園「ゲッカビジン観賞」	7/1(日)～7/2(月) 19:00～21:30	サンライトホール	644
夜間開園「夜の温室植物」	8/14(火)、15(水) 19:00～21:30	展示温室	128
サマーナイトフェスタ	8/25(土)、26(日) 19:00～21:30	サンライトホール	378
クリスマスフェスタ	12/15(土)、16(日) 9:00～20:00	サンライトホール	337

##### (2) 企画展示 開催場所：サンライトホール、開催時間：9:00～17:00 (11月～1月は16:30まで)

催事名称	開催日	内容
日本の桜「ソメイヨシノ」	4/1～4/25	日本の代表的なサクラ「ソメイヨシノ」とその近縁品種について解説。
バラのハンギングバスケット コンテスト	4/21～5/9	ハンギングバスケット講習会作品の展示とコンテスト。
第28回春のラン展	5/3～5/5	富山県蘭協会と共催で春咲きのランの展示。
富山の失われつつある ランを守る	4/28～5/6	ラン展開催に合わせ、富山県内の野生ランの現状と保護について紹介。
二口義雄画伯 『原色図譜園芸植物』原画展	5/11～5/30	寄贈された平凡社刊「原色図譜 園芸植物」の原画と、二口先生の遺品を展示。
サツキ展	6/1～6/3	地元愛好会「寿さつき会」のサツキ盆栽を展示。
私の植物写真展	6/8～7/4	植物写真教室受講者の作品と一般公募した作品の展示。
キョチクの七夕飾り	7/6～7/18	熱帯産のタケ、キョチクに地元ピノキオ保育園の子どもたちが作った七夕飾りをつけ展示。
夏休み特別企画 親子体験コーナー	7/20～8/29	木の実や枝を使った工作、顕微鏡、花の折り紙のコーナーを設置し、来園者が自由に体験。
ハイビスカスとフヨウの仲間	8/31～9/19	ハイビスカスの園芸品種とアオイ科植物の展示。
フラワーアレンジ展富山2007	9/22～9/24	日本フラワーデザイナー協会富山県支部と共催で、フラワーアレンジメントの作品を展示。
茶と珈琲の植物物語	9/28～11/7	お茶とコーヒーの植物学的解説、利用方法、楽しみ方などをパネルと実物で解説。
第1回秋のラン展	11/16～18	富山県蘭協会と共催で、秋咲きのカンランや洋ランを展示。
クリスマスの植物	11/30～12/26	ドイツウヒの大きなクリスマスツリーとポインセチアなどクリスマスにちなんだ植物を展示。
干支にちなんだ植物展	12/7～1/16	亥と子にちなんだ植物を展示。
平成19年度研究発表展	2/1～2/20	植物園職員の研究紹介。
第36回蘭まつり大会	3/7～3/9	富山県蘭協会と共催で、洋ランや東洋ランの展示。
私の植物画展	3/11～3/31	全国に公募した植物画作品の展示。

## (3) 講座・講習・講演会

催事名	講師など	開催日時	開催場所	参加者
講演会と植樹 「里帰りした日本の桜『ソメイヨシノ』」	大原隆明(植物園職員)	4/1(日) 13:30～15:30	ドリアスホール、 花のプロムナード	33
栽培講習会(13:30～15:00に実施)				
①ミセバヤの懸崖づくり	中田政司(植物園職員)	4/8(日)	実習室	16
②ランの植え替えと管理	富山県蘭協会会員	5/4(金) 5/5(土)	ドリアスホール ドリアスホール	60 55
③クレマチスの栽培	越野淳一 (植物園ボランティア)	6/10(日)	実習室	27
④ランの植え替えと管理	富山県蘭協会会員	11/17(土) 11/18(日)	ドリアスホール ドリアスホール	42 48
県民植物学講座(13:30～15:00に実施)				
①「富山の桜」	大原隆明(植物園職員)	4/15(日)	研修室、園内	45
②「富山県の植生」	山下寿之(植物園職員)	7/1(日)	研修室	33
③「立山の植物とライチョウ」	吉田めぐみ(植物園職員)	8/19(日)	研修室	40
④「富山県の絶滅危惧植物」	中田政司(植物園職員)	10/21(日)	研修室	39
⑤「富山県の植物を調査する」	大原隆明(植物園職員)	12/16(日)	研修室	52
バラのハンギングバスケット 講習会	増山たか子(ハンギングバスケット協会富山支部)	4/21(土) 10:00～12:00 13:30～15:00	ドリアスホール	20 26
デジカメ講座「花を撮ろう」	富山県ITセンター職員	5/20(日) 9:00～15:00	研修室、園内	28(16組)
第28回植物画講習会	豊田路子(植物画家) 岡田宗男(植物画家)	5/26(土)、27(日) 10:00～16:00	研修室	28
植物写真教室	富山県写真家協会	6/3(日) 13:00～16:00	研修室、園内	67
デジカメ講座「花を写そう」	富山県ITセンター職員	7/29(日) 9:45～15:00	研修室、園内	33(16組)
顕微鏡・電子顕微鏡講習会	橋屋誠(植物園職員)	8/25(土) 13:00～15:00	実習室、電顕室	6
フラワーアレンジ講習会	日本フラワーデザイナー協会富山県支部	9/23(日)13:30～14:30 9/24(月)10:30～12:00	ドリアスホール	28 35
交通安全教室	富山県警察音楽隊	9/25(火) 10:00～12:00	サンライトホール	333
第29回植物画講習会	豊田路子(植物画家) 岡田宗男(植物画家)	9/29(土)、30(日) 10:00～16:00	研修室	38
紅茶・中国茶の楽しみ方	藤本美智子 (ティーインストラクター)	10/1(月) 13:30～15:30	実習室	23
第15回TOYAMA植物フォーラム 「お茶とコーヒーのある暮らし」	劉 園英(北陸大学薬学部准教授) 荻田信二郎(富山県立大学講師)	10/7(日)13:00～16:00	研修室	25
コーヒーの楽しみ方	高橋義雄 (南方郵便機店主)	10/28(日) 13:30～15:30	実習室	24
平成19年度研究発表会	植物園職員	2/3(日) 13:00～16:00	研修室	54
デジカメ講座「花を撮ろう」	富山県ITセンター職員	2/10(日) 9:45～15:00	研修室、園内	35

#### (4) 月例行事

##### ● 植物園オリエンテーリング (7回)

親子で植物の問題に取り組みながら園内を散策 (開催時間: 10:30 ~ 12:30)

開催日: 毎月第3日曜日 (4月~10月)

参加者: 約 152名 (これ以外に 15 団体がオリエンテーリングを実施し、1,103名が参加した)

##### ● 日曜植物案内 (24回)

園内の植物をテーマに沿って植物園の職員とボランティアが解説 (開催時間: 11:00 ~ 12:00)

開催日: 毎月第1、2日曜日

(4/1、4/8、5/6、5/13、6/3、6/10、7/1、7/8、8/5、8/12、9/2、9/9、10/7、10/14、  
11/4、11/11、12/2、12/9、1/6、1/13、2/3、2/10、3/2、3/9)

参加者: 278名

#### (5) コンサート

催事名	開催日時	演奏者
中山妙子と FUGA コンサート	4/5(木)、6(金) 14:30 ~ 15:30、18:30 ~ 19:30	中山妙子と FUGA
ドリラスコンサート	5/6(日) 13:00 ~ 14:00	中山妙子と FUGA
サマーナイト	8/25(土) 19:20 ~ 19:50、 20:20 ~ 20:50	安養美香 (ピアチェーレ音楽院講師 / フルート) 他
	8/26(日) 19:30 ~ 20:30	演劇ユニット Cow Boys 演劇公演
ハワイアンコンサート	9/17(日) 15:00 ~ 16:00	ハワイアン同好会
クリスマスフェスタ	12/15(土) 15:30 ~ 16:00	ピノキオ保育園年中児ハンドベル演奏
ミニコンサート	12/15(土) 18:00 ~ 19:30	富山古楽協会
	12/16(日) 18:00 ~ 19:30	T-GRACE-CHIOR

#### (6) 植物園内での挙式

平成 19 年 9 月 23 日フローラルステージにて挙式

## (7) 植物園クラブ活動実績

年月日	行事名	参加者			
19.4.28	ペットボトルのハンギングバスケットづくり	29	9.22	秋の草花遊び	1
4.29	ペットボトルのハンギングバスケットづくり	31	9.24	秋の草花遊び	20
5.12	巨大カボチャを育てよう第1回作業日	35	10.6	どんぐりで遊ぼう1	52
5.19	春の草花遊び	21	10.8	どんぐりで遊ぼう1	73
5.2	春の草花遊び	17	10.14	体験 バタバタ茶	19
5.26	巨大カボチャを育てよう第2回作業日	35	10.20	親子茶道教室	17
6.17	植物バイオの実験	18	10.27	かぼちゃのチョウチンづくり	28
6.23	熱帯の植物を育てよう	15	10.27	かぼちゃのチョウチンづくり	57
6.23	巨大カボチャを育てよう第3回作業日	28	11.3	どんぐりで遊ぼう2	52
6.24	熱帯の植物を育てよう	15	11.4	どんぐりで遊ぼう2	42
7.7	七夕飾りを作ろう	64	11.10	落ち葉で遊ぼう	12
7.8	七夕飾りを作ろう	6	11.11	落ち葉で遊ぼう	34
7.14	巨大カボチャを育てよう第4回作業日	28	11.24	植物バイオの実験	10
7.21	植物バイオの実験	20	12.1	クリスマス飾りを作ろう	51
7.22	食虫植物を育てよう	68	12.2	クリスマス飾りを作ろう	61
7.28	巨大カボチャを育てよう第5回作業日	14	12.8	クリスマス飾りを作ろう	50
7.28	夏休み植物教室	54	12.15	クリスマス飾りを作ろう	52
8.1	夏休み植物教室	49	12.26	正月飾りを作ろう	56
8.3	夏休み植物教室	53	20.1.6	顕微鏡で植物を観察しよう	9
8.4	顕微鏡、電子顕微鏡で植物を観察しよう	15	1.12	植物バイオの実験	5
8.11	巨大カボチャを育てよう第6回作業日	16	1.14	顕微鏡で植物を観察しよう	9
8.13	ソテツの虫かごづくり	36	2.9	電子顕微鏡で植物を観察しよう	11
8.14	ソテツの虫かごづくり	43	2.11	電子顕微鏡で植物を観察しよう	19
8.26	巨大カボチャを育てよう第7回作業日	24	2.23	飛ぶタネの模型作り	13
9.8	巨大カボチャを育てよう収穫日	20	2.24	飛ぶタネの模型作り	15
9.8	草木染めをしよう	15	3.22	熱帯の果物を育てよう	8
9.15	草木染めをしよう	8	3.23	熱帯の果物を育てよう	8
			合計		1,561

## 2. 団体来園者への教育支援活動

## (1) 平成19年度理数大好きモデル地域事業

年月日	学校名	実施内容	人数
19.5.23	射水市立片口小学校3年生	「植物のつくり」講義と実習、オリエンテーリング	67
5.30	上市町立白萩西部小学校全校	オリエンテーリング、1,2年生葉の写し絵、 3,4年生「植物のつくり」、5,6年生「顕微鏡観察」	57
6.6	黒部市立三日市小学校3年生	オリエンテーリング、「植物のつくり」	69
8.24	南砺市立井波中学校1年生	植物標本作り、標本室見学	24
10.2	高岡市立中田小学校2年生	オリエンテーリング、どんぐりや木の実を使った工作	67
10.10	砺波市立庄川小学校5年生	「花のつくり」講義、園内見学	76
10.23	射水市立中太閤山小学校1年生	どんぐりや木の実を使った工作	84
10.30	射水市立片口小学校1年生	どんぐりや木の実を使った工作	51
10.31	黒部市立三日市小学校1年生	どんぐりや落ち葉拾いでの工作	72
11.9	砺波市立庄川小学校3年生	「植物のつくり」講義、植物のつくりの観察	59
11.27	高岡市立能町小学校3年生	温室でのオリエンテーリング	107
	合計		733

## (2) 各種団体への教育支援活動実績

年月日	団体名	内容	人数
19.4.27	黒部市立生地小学校 3、4年生	オリエンテーリング	72
5.1	富山市立大沢野小学校 3年生	オリエンテーリング	138
5.29	富山市立鶴坂小学校 5年生総合学習	オリエンテーリング	120
6.5	富山市立鶴坂小学校 5年生総合学習	フローラルステージの植え替え作業	81
6.6	富山市立鶴坂小学校 5年生総合学習	フローラルステージの植え替え作業	39
6.30	富山市立朝日小学校 3年生親子活動	オリエンテーリング	47
7.6	富山市立鶴坂小学校 5年生総合学習	JICA 研修生嶋田氏の講演(鶴坂小学校にて)	116
8.7	富山大学理学部生物圏環境科学科	講義(植物園の役割、富山県の植物) 実習(高山矮生低木の葉の形態観察)	18
8.24	富山市小学校教育研究会第5区域教育課程第1学年部会	オリエンテーリング(鶴坂小学校にて)	29
9.28	富山老人保健施設	オリエンテーリング	55
9.29	射水市立中太閤山小学校 6年生親子活動	オリエンテーリング	88
10.26	滑川市立東加積小学校 1、2年生	オリエンテーリングとどんぐり工作	32
11.2	富山市立保内小学校 1年生	どんぐり工作と温室見学	49
11.8	富山市立鶴坂小学校 5年生総合学習	入園口広場花壇の植え替え作業	81
11.9	富山市立山室中部小学校 2年生	どんぐり工作、オリエンテーリング	133
11.23	富山 YMCA 福祉菽浦保育園	オリエンテーリング	28
20.1.29	富山市立城山中学校 1年生	環境についての調べ学習	10
合計			1,136

## (3) ドリアス講義(植物のからだ、富山の植物、環境保全と植物園の役割などのテーマから選択)

年月日	団体名	人数
19.5.9	大谷中学	60
5.15	立山町遊学サークル	28
5.16	富山県パーキンソン病友の会	46
5.19	富山大学理学部生物学科	16
5.23	射水市立片口小学校	67
5.23	上関保育園	34
6.6	黒部市立三日市小学校	69
6.13	シルバーケア今泉	42
6.15	砺波地区中学校文化連科学部会	28
7.7	(株)富士薬品信頼性保障本部	11
7.20	赤丸長寿会	25
8.7	富山大学理学部生物圏環境科学科	18
8.24	大門ボランティア連絡協議会	48
8.29	田刈屋・長寿会	34
9.29	射水市立中太閤山小学校	88
10.24	入善町飯野公民館	15
11.13	ふれあいサロンひまわり	22
11.16	長野県カルチャーセンター	34
11.16	高岡市木津公民館	15
2.16	富山県自然解説員 いちよん会	32
合計		732



### 3.平成 19 年度印刷・出版

#### (1)「植物園だより」の発行

● 2007 年 7 月号 (No.44)

表紙 熱帯スイレン / 「キョチクの七夕飾り」「親子体験コーナー」 / 「ハイビスカスとフヨウの仲間」  
「フラワーデザイン展富山 2007」 / 活動報告 (4～6 月) / 植物園トピックス / 研究紹介 (主任 大原  
隆明) / 催し物のご案内

● 2007 年 10 月号 (No.45)

表紙 チンゲルマ / 「茶と珈琲の植物物語」 / 「第 1 回秋のラン展」「クリスマスフェスタ」 / 活動報告  
(6～8 月) / 植物園トピックス / 研究紹介 (主任 志内利明) / 催し物のご案内

● 2008 年 1 月号 (No.46)

表紙 ソシンロウバイ / 「干支にちなんだ植物展」「平成 19 年度研究発表展」 / 「第 36 回富山県蘭ま  
つり大会」「第 13 回私の植物画展」 / 活動報告 (9～11 月) / 植物園トピックス / 研究紹介 (主任  
兼本正) / 催し物のご案内

● 2008 年 4 月号 (No.47)

表紙 アネモネ / 「桜の新品種 氷見久津呂菊桜」「ハンギングバスケットコンテスト」 / 「第 29 回春  
のラン展」「さつき展」 / 活動報告 (12～2 月) / 植物園トピックス / 研究紹介 (副主幹研究員 中田政司)  
/ 催し物のご案内

#### (2)「事業概要」第 9 号 (平成 18 年度) (A4 判・32 頁、平成 19 年 10 月 31 日発行)

#### (3)「富山県中央植物園リーフレット」の発行 (A4 判 6 ッ折り、平成 20 年 3 月 31 日印刷)

### 4.平成 19 年度新聞・雑誌等への寄稿

年月	掲載誌	タイトル	執筆者
19.7	森林技術 2007 No.784	タケを竹として活用する時世に思う	内村悦三
19.8	富士竹類植物園報告 第 51 号	温室内でのジャイアント・バンブー ( <i>D. giganteus</i> Willich ex Munro) の生育と管理	内村悦三
19.8	Bamboo Voice No.27	竹のバイオマス利用と企業化	内村悦三
19.11	趣味の園芸	チヨウキンレンの株分け	神戸敏成
19.12	Bamboo Voice No.28	多い竹と少ない茸の背景	内村悦三
19.12	Bamboo Voice No.28	竹活用で持続的社會をつくる	内村悦三
20.3	創森社	育てて楽しむタケ・ササー手入れのコツ	内村悦三

### 5.平成 19 年度新聞記事

年月	内容	件数
19.4	米へ贈呈の”子孫”ソメイヨシノ植樹、夜桜幻想的、桜のポストカードなど	33
5	中国産ボタン見頃、ランの危機県内も深刻、春のラン展、精巧な植物画並ぶなど	31
6	サツキ展、植物写真展、鶴坂小児童苗植え替え、バナラ青々実るなど	15
7	麗し月下美人、植物園に七夕飾り、ロシア子どもサークル県内各地を訪問など	19
8	オオオニバスが開花、植物も熱中症心配、オオオニバス試乗など	17
9	ハイビスカス鮮やか、フラワーデザイン展開幕、植物園で結婚式など	32
10	児童と植物画観賞、茶と珈琲から植物を知る企画展、季節はずれリンゴの花など	14
11	立山に 11 外来種、鶴坂小学校児童花壇植え替え、秋のラン展など	14
12	ツリー点灯式、干支にちなんだ植物、室内楽聖夜の響きなど	17
20.1	ねずみの花咲く、「迎春柳」鮮やか、トウツバキ増殖へ一歩など	18
2	職員研究展、花と緑のフェス、フクジュソウ可憐、希少植物増殖目指すなど	19
3	蘭まつり、立山なのに熱帯植物、植物画公募展、氷見の桜は新品種など	19

6. 平成 19 年度 北陸中日新聞動物園植物園レポート

年月日	掲載テーマ	執筆者
19.4.7	バナナ	兼本 正
4.21	カタクリ	吉田めぐみ
5.5	フジ	塩谷佳和
5.19	アヤメとカキツバタ	志内利明
6.2	ロサ・ルビギノサ	大原隆明
6.16	ヒマラヤヤマボウシ	高橋一臣
6.30	ハンゲショウ	山下寿之
7.14	ハイビスカス	兼本 正
7.28	レンゲショウマ	橋屋 誠
8.11	パラグアイオニバス	中田政司
8.25	サガリバナ	中田政司
9.8	アイ	吉田めぐみ
9.22	ノアサガオ	塩谷佳和
10.6	チャノキ	神戸敏成
10.20	コーヒーノキ	神戸敏成
11.3	コブクザクラ	吉田めぐみ
11.17	サトウカエデ	大原隆明
12.1	カトレア	志内利明
12.15	ポインセチア	塩谷佳和
20.1.5	アリサルム	高橋一臣
1.19	セイロンニッケイ	橋屋 誠
2.2	ウンシュウミカン	兼本 正
2.16	トウツバキ	中田政司
3.1	フクジュソウ	中田政司
3.15	クリスマスローズ	神戸敏成
3.29	ショウジョウバカマ	山下寿之

7. 平成 19 年度取材対応

- (1) 新聞 16 件
- (2) テレビ 56 件
- (3) ラジオ 46 件
- (4) 雑誌等 1 件

8. 平成 19 年度リファレンス(質問対応)状況>(\*は同定依頼の内キノコ関係の内訳)

年度	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
総数	140	243	334	493	624	715	780	815	769	700	779	807
質問方法別												
来園	65	84	118	179	258	268	301	376	364	311	374	372
電話	73	153	206	301	341	410	432	381	324	330	376	387
文書	2	6	9	13	25	37	47	58	81	59	38	48
質問内容別												
同定 (キノコ)*	73 (50)	79 (58)	129 (73)	181 (110)	275 (184)	330 (196)	320 (190)	379 (266)	400 (274)	344 (268)	395 (285)	413 (306)
園芸相談	25	73	103	159	178	208	217	186	188	188	211	192
その他	42	91	102	153	171	177	243	250	181	168	173	197
質問者業種別												
一般	127	202	266	420	528	606	676	693	680	639	691	674
マスコミ	11	35	59	55	67	72	74	77	48	42	65	103
植物関係者	2	6	9	18	29	37	30	45	41	19	23	25

9. 公的団体等からの同定依頼

年月日	提供先	内容
19.5.28	富山県立となみ養護学校砺波学園分校	学校校庭の空中花粉の同定
19.6.7	富山市保健所	パンに混入した異物の同定

10. 写真の提供

年月日	提供先	内容
19 年度毎月	(株)CAP	富山経済月報ホームページの季節の植物写真

## IV 資料収集事業

### 1. 標本資料現況 (点数)

平成 3～18 年度		平成 19 年度	点数
購入標本	3,000		0
収集標本	38,395	園内収集植物標本	211
		県内産植物標本	550
		植物誌部会収集県内産植物標本	1,700
寄贈標本	27,868	個人からの寄贈 39 件	5,962
		団体等から寄贈 3 件	132
計	66,263	計	8,555

### 2. 文献資料現況 (冊数)

#### (1) 単行本

		平成 3～18 年度	19 年度	合計 (冊数)
購入	洋書	940	1	941
	中国書	370	1	371
	和書	928	53	981
交換寄贈	洋書	1,279	84	1,363
	中国書	297	12	309
	和書	3,966	5	3,971
合計		7,780	156	7,936

#### (2) 雑誌

		平成 3～18 年度	19 年度	合計 (冊数)
購入	洋書	3,921	165	4,086
	中国書	861	52	913
	和書	3,170	121	3,291
交換寄贈	洋書	1,954	242	2,196
	中国書	160	19	179
	和書	4,123	214	4,337
合計		14,189	813	15,002

### 3. 植物画資料

年月	点数	導入先
平成 7 年 6 月	1,743 点 (理科図集、日本椿集原画など)	二口善雄寄贈
平成 18 年 7 月	302 点 (平凡社刊 原色図譜「園芸植物」原画など)	二口善雄寄贈

## V 調査研究事業

### 1. 研究体制 (平成 19 年 4 月 1 日現在)

氏名	職	担当分野・専門分野
内村 悦三	園長	森林生態学、世界のタケ類の生態と栽培、熱帯林の修復、アグロフォレストリー・システムの構築
黒川 道	顧問	植物分類学、地衣類
中田 政司	副主幹研究員 (企画情報課長)	植物細胞分類学、植物細胞遺伝学、染色体、キク属
塩谷 佳和	副主幹研究員	園芸植物
山下 寿之	副主幹研究員	植物生態学、植物社会学、常緑広葉樹林、種子生態
神戸 敏成	主任研究員	植物育種学、植物組織培養、花き植物、絶滅危惧植物
橋屋 誠	主任	植物分類学、菌類(キノコ)、地域フロラ
吉田めぐみ	主任	植物生態学、種生物学、高山植物
兼本 正	主任	植物細胞分類学、琉球列島フロラ、イラクサ科
高橋 一臣	主任	植物分類学、ササ属
大原 隆明	主任	植物分類学、地域フロラ、サクラ属
志内 利明	主任	植物分類学、トカラ列島フロラ、溪流沿い植物

### 2. 研究課題

- (1) 富山県の植物相と植生に関する調査
- (2) 富山県内の絶滅危惧植物の実態調査、増殖に関する研究
- (3) 導入植物の同定と利用に関する研究

### 3. 平成 19 年度外部資金導入による調査研究

- ・助成名 財団法人国際花と緑の博覧会記念協会研究助成・新規  
助成対象 財団法人花と緑の銀行理事長石井隆一(代表)  
助成課題 トウツバキ園芸品種の保全に関する日中共同研究
- ・助成名 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究 B)・継続  
助成対象 神戸敏成(分担)  
助成課題 本邦産難発芽性ラン科希少種の絶滅を回避するための種子繁殖法と種子貯蔵法の確立
- ・助成名 トヨタ財団研究助成「アジア隣人ネットワーク」プログラム・継続  
助成対象 兼本正(分担)  
助成課題 東アジア環太平洋亜熱帯・熱帯地方における植物種に関する共同研究と生物資源データベース作成を目的としたネットワークの構築

### 4. 他団体等との共同研究(相手先)

- ・トウツバキ園芸品種の保全に関する日中共同研究(中国科学院昆明植物研究所)
- ・中国産ベゴニア属植物の種分化と保全に関する共同研究(中国科学院昆明植物研究所)
- ・アヤメ科植物遺伝子資源保全のための日中共同研究(中国科学院昆明植物研究所)
- ・水田ビオトープの植物相と植生の変化(富山県立大学)
- ・立山黒部アルペンルートにおける外来植物等調査(立山自然保護センター)
- ・海洋深層水によるパパイヤの栽培(五洲薬品株式会社)
- ・植物由来のマンデロニトリルリアーゼに関する研究(富山県立大学 浅野泰久教授)
- ・植物園内(温室を含む)に生息するアリ類の種類と分布に関する調査(日本蟻類研究会 佐藤武司)
- ・絶滅危惧種コアニチドリの保全に関する研究(利賀ダム工事事務所)

## 5. 依頼調査

調査日	調査内容等	依頼先
19.5.28	校内での浮遊花粉の調査	富山県立となみ養護学校砺波学園分校
9.27	岩瀬浜保全調査	富山市岩瀬古志町町内会
10.11	南砺市岩木ため池の貴重植物調査	砺波農地林務事務所
20.3.28	植物の鑑定委嘱	伏木税関支署富山空港出張所

## 6. 研究報告 13 号 (平成 20 年 3 月 28 日発行)

### Articles (原著)

吉田めぐみ・山下寿之: 富山県を代表する植物群落の 30 年の変化 (p.1-14).

山下寿之・吉田めぐみ・大沼進: 立山自然保護センターで採取した靴底土から発芽した植物 (p.15-22).

### Notes (短報)

大原隆明・井上さち子: 富山県で野生化したシンジュボシマンネングサ (新称) *Sedum pallidum* var. *bithynicum* (p.23-26).

志内利明・神戸敏成: 富山県におけるベニシュスランの自生地と染色体数 (p.27-30).

Tadashi Kanemoto & Toshiaki Shiuchi: Chromosome numbers of *Ajuga pygmaea* (Lamiaceae) of Japan (日本産ヒメキランソウの染色体数). (p.31-34).

中田政司・王 仲朗・魯 元学・王 霜・管 開雲: 中国雲南省楚雄市の常緑広葉樹二次林におけるトウツバキ個体群の観察 (p.35-40).

Toshinari Godo, Yuanxue Lu, Jingxiu Li & Kaiyun Guan: Comparisons of response for plant growth regulators in tissue culture of *Begonia* native to Yunnan, China (中国雲南省産ベゴニアの組織培養における植物成長調整物質の影響の比較). (p.41-46).

### Miscellaneous (資料)

大原隆明・中央植物園友の会植物誌部会・山下寿之: 富山県フロラ資料 (12) (p.47-62).

橋屋 誠: 富山県高等菌類資料 (6)(p.63-66).

橋屋 誠・能勢育夫: 北陸地域で採集された 2 種の稀少きのこ (p.67-69).

## 7. 平成 19 年度研究発表「植物園を支える研究活動(9)」(展示発表順)

- ・吉田めぐみ: 富山県を代表する植物群落の 30 年の変化
- ・山下寿之・吉田めぐみ: 富山自然保護センターで採取した靴底土から発芽した植物
- ・大原隆明: 富山県で新たに生育が確認された植物 (11)
- ・橋屋誠: 富山県で記録されたきのこ (12)
- ・高橋一臣: アマギザサ節のササは富山県にも分布するか?
- ・神戸敏成: 日本産エビネ属の種子発芽に及ぼす要因
- ・兼本 正: オオオニバスの栽培
- ・兼本 正: 富山県中央植物園における植物季節現象
- ・塩谷佳和: アキギリ属の園芸的利用
- ・志内利明: 富山県におけるベニシュスランの現状と染色体数
- ・中田政司: 平成 19 年度 (財) 国際花と緑の博覧会記念協会助成事業  
トウツバキ園芸品種の保全に関する日中共同研究

## 8. 著書・論文・学会発表等

### 内村悦三

- ・竹・木竹酢液の用語事典. 木質炭化学会編. 創森社. (分担執筆).
- ・タケ・ササ 手入れのコツ. 創森社.

### 中田政司

- ・魚津市坪野地区のため池に二倍体クロモが生育. 19 年度富山県生物学会発表会. (2007). (共同発表).
- ・魚津市のため池に二倍体クロモが生育. 富山の生物 47: 37-38. (2008). (共著).
- ・ラン科希少種である菌従属栄養植物クロヤツシロランの非共生発芽. 日本植物細胞分子生物学会.

(2007). (共同発表).

- ・雲南山茶花(トウツバキ)の園芸品種'楚雄茶'と油茶(ユチャ)の微細繁殖に関する研究. 中国第二回茶花育種学術研討会論文集. pp. 31-43. (2008). (共著).
- ・大理州雲南山茶古樹及其野生資源簡報. (Ancient *Camellia* trees and wild *Camellia* resources in Dali Prefecture of Yunnan Province). 中国第二回茶花育種学術研討会論文集. pp. 19-25. (2008). (共著).
- ・大理州雲南山茶古樹及其野生資源 (Ancient *Camellia* trees and wild *Camellia* resources in Dali Prefecture of Yunnan Province). 2008 中国茶花育種年会国際茶花育種学術交流会会議. (2008). (共同発表).
- ・携帯型マンセル色票計による野外でのトウツバキの花色測定. 園芸学研究 7: 139-143. (2007). (共著).
- ・Cytotaxonomy of *Begonia rubropunctata* and *B. purpureofolia* (Begoniaceae). Bot. Journ. Linn. Soc. 155: 513-517. (2007). (共著).
- ・アヤメ科植物遺伝子資源保全のための日中共同研究. 平成 18 年度花博記念協会助成事業成果発表会. (2007). (共同発表).
- ・ラン科希少種である菌従属栄養植物クロヤツシロランの非共生発芽. 日本植物細胞分子生物学会. (2007). (共同発表).

#### 山下寿之

- ・Ecological distribution of seven evergreen *Quercus* species in southern and eastern Kyushu, Japan. Vegetation Science 24: 53-63. (2007). (共著).
- ・立山室堂における靴底土から発芽した植物について. 日本生態学会第 55 回全国大会. (2008). (共同発表).
- ・大理州雲南山茶古樹及其野生資源簡報. (Ancient *Camellia* trees and wild *Camellia* resources in Dali Prefecture of Yunnan Province). 中国第二回茶花育種学術研討会論文集. pp. 19-25. (2008). (共著).
- ・大理州雲南山茶古樹及其野生資源 (Ancient *Camellia* trees and wild *Camellia* resources in Dali Prefecture of Yunnan Province). 2008 中国茶花育種年会国際茶花育種学術交流会会議. (2008). (共同発表).

#### 神戸敏成

- ・絶滅危惧植物トンボソウの完熟種子の発芽に及ぼす諸要因 園芸学会平成 20 年度春季大会. (2008). (共同発表).
- ・ラン科希少種である菌従属栄養植物クロヤツシロランの非共生発芽. 日本植物細胞分子生物学会. (2007). (共同発表).
- ・菌従属栄養植物オニノヤガラ(ラン科)種子の非共生培養による発芽. 日本植物細胞分子生物学会. (2007). (共同発表).
- ・日本産エビネ属植物種子の非共生発芽に及ぼす諸要因. 園芸学会北陸支部会. (2007). (共同発表).
- ・サルメンエビネ. 農業技術大系. (2008). (執筆).
- ・中国雲南省産 *Lilium amoenum* のカルスからの不定芽誘導に及ぼす二糖類の影響. 日本植物細胞分子生物学会. (2007). (共同発表).
- ・雲南省産 *Lilium amoenum* のカルスからの不定芽誘導に及ぼすラクトースの影響. 園芸学会北陸支部会. (2007). (共同発表).
- ・雲南山茶花(トウツバキ)の園芸品種'楚雄茶'と油茶(ユチャ)の微細繁殖に関する研究. 中国第二回茶花育種学術研討会論文集. pp. 31-43. (2008). (共著).
- ・大理州雲南山茶古樹及其野生資源簡報. (Ancient *Camellia* trees and wild *Camellia* resources in Dali Prefecture of Yunnan Province). 中国第二回茶花育種学術研討会論文集. pp. 19-25. (2008). (共著).
- ・携帯型マンセル色票計による野外でのトウツバキの花色測定. 園芸学研究 7: 139-143. (2008). (共著).
- ・Tissue culture and plantlet regeneration of *Begonia rubropunctata* S. H. Huang et Shui. Plant Physiology Communications. 43(6). (2007). (共著).

#### 橋屋 誠

- ・縄ヶ池周辺的高等菌類相の調査(補遺). 19 年度富山県博物館協会研修会 (2007).

#### 吉田めぐみ

- ・立山室堂における靴底土から発芽した植物について. 日本生態学会第 55 回全国大会. (2008). (共同発表).

大原隆明

- ・ 県指定特別天然記念物「縄ヶ池ミズバショウ群生地」周辺の植物相調査(補遺). 19年度富山県博物館協会研修会(2007).
- ・ 富山県および北陸地方西部における日本海要素植物「エチゴルリソウ」の再検討. 19年度富山県生物学会発表会.(2007).(共同発表).
- ・ 富山県氷見市に産する菊咲き性のサクラの新園芸品種. 第1回日本櫻学会発表会.(2007).
- ・ 富山県における秋冬咲き性サクラ園芸品種の分布調査. 第1回日本櫻学会発表会.(2007).

志内利明

- ・ 大理州雲南山茶古樹及其野生資源簡報 (Ancient *Camellia* trees and wild *Camellia* resources in Dali Prefecture of Yunnan Province). 中国第二回茶花育種學術研討会論文集. pp. 19-25. (2008). (共著).
- ・ 大理州雲南山茶古樹及其野生資源 (Ancient *Camellia* trees and wild *Camellia* resources in Dali Prefecture of Yunnan Province). 2008 中国茶花育種年会国際茶花育種學術交流会会議.(2008).(共同発表).



## VI 友の会・ボランティアの活動

### 1. 事業

#### (1) 講演会・講習会

内容	開催日	参加者数
種苗交換会	4月8日(日)	11
	5月5日(日)	10
	6月10日(日)	27
	11月18日(日)	8
友の会植物画講習会 講師：豊田路子(フェアリーリングの会)	10月20日(土)、21日(日)	19
きのこ観察会ときのこ鍋会	11月11日(日)	38
富山県中央植物園客員研究員講義の聴講		
山田 勇(京都大学名誉教授)	11月21日(水)・22日(木)	
鳴橋直弘(富山大学名誉教授)	12月4日(火)・5日(水)	
クリスマスリースづくり 講師：増山たか子(中央植物園ボランティア)	12月9日(日)	20
友の会のつどい 講演：志内利明(富山県中央植物園職員)	3月16日(日)	70

#### (2) 植物観察会

催事名	開催場所	開催日	参加数
友の会バスツアー	春日井園芸センター、バラフェスタ記念公園	6月7日(木)-8日(金)	20
野外観察会	立山町吉峰	7月29日(日)	6

#### (3) その他

内容	開催場所	開催日	参加数
第14回理事会	書面	4月30日	—
第15回理事会	中央植物園	3月16日	—
友の会のつどい	中央植物園	3月16日	70

### 2. 部会の活動

#### (1) 植物画部会(登録者数89名：平成20年3月31日現在)

例会(場所：中央植物園)

4月8日(日)：24名  
5月13日(日)：31名  
6月10日(日)：28名  
7月8日(日)：26名

8月12日(日)：15名  
9月9日(日)：27名  
11月11日(日)：25名  
12月9日(日)：32名

1月14日(日)：23名  
2月10日(日)：35名  
3月23日(日)：28名

友の会ボタニカルアート展

催事名	開催場所	開催日
第7回	4月22日～5月6日	富山県花総合センター(砺波市)
第8回	9月13日～10月1日	南砺市園芸植物園(南砺市)
第9回	11月3日～11月26日	氷見市海浜植物園(氷見市)
第10回	3月28日～3月31日	県民会館(富山市)

友の会植物画講習会 場所：富山県花総合センター(砺波市) 期間：10月20日(土)・21日(日)



## (2) きのか部会 (登録者数 95 名：平成 20 年 3 月 31 日現在)

開催日	場所	内容	参加数
19.6.17	中央植物園実習室	顕微鏡講座	4
6.24	中央植物園実習室	顕微鏡講座	6
7.29	古洞の森	観察会	21
9.2	有峰	観察会	25
10.6	有峰	観察会	29
20.1.26	中央植物園研修室	スライド学習会	23
2.16	中央植物園実習室	きのか染め講習会	10

## (3) 植物誌部会 (登録者数 62 名：平成 20 年 3 月 31 日現在)

開催日	場所	内容	参加数
19.4.22	魚津市角川	定例調査会	12
5.27	射水市堀岡	定例調査会	15
6.24	朝日町三峰	定例調査会	11
7.22	高岡市福岡町家族旅行村	定例調査会	18
8.26	南砺市桜ヶ池	定例調査会	10
9.23	魚津市坪野	定例調査会	12
10.28	上市町館	定例調査会	12
11.25	中央植物園実習室	標本同定会	11
12.23	富山市内	納会	15
20.1.27	中央植物園実習室	標本同定会	7
2.17	中央植物園実習室	標本同定会	8
3.23	氷見	定例調査会	12

## (4) ボランティア部会 (登録者数 58 名：平成 20 年 3 月 31 日現在)

活動内容	補助のべ回数	補助のべ人数
案内所 (インフォメーション)		
入園者への案内等	126	174
教育普及事業の補助		
植物園オリエンテーリング	7	69
日曜植物案内	12	25
夜間開園「ゲッカビジン観賞」	2	10
夜間開園「サマーナイトフェスタ」	1	1
「植物園クラブ」	54	165
花と緑のフェスティバル	3	29
調査研究事業の補助		
標本添付作業	85	178
植物の栽培管理の補助		
話題の植物エリア	27	40
クレマチス園	12	13
栽培温室	18	18
植物写真記録	53	53
発送物袋詰め作業	4	23
合計	404	798

## 3. 会員数 (平成 20 年 3 月 31 日現在)

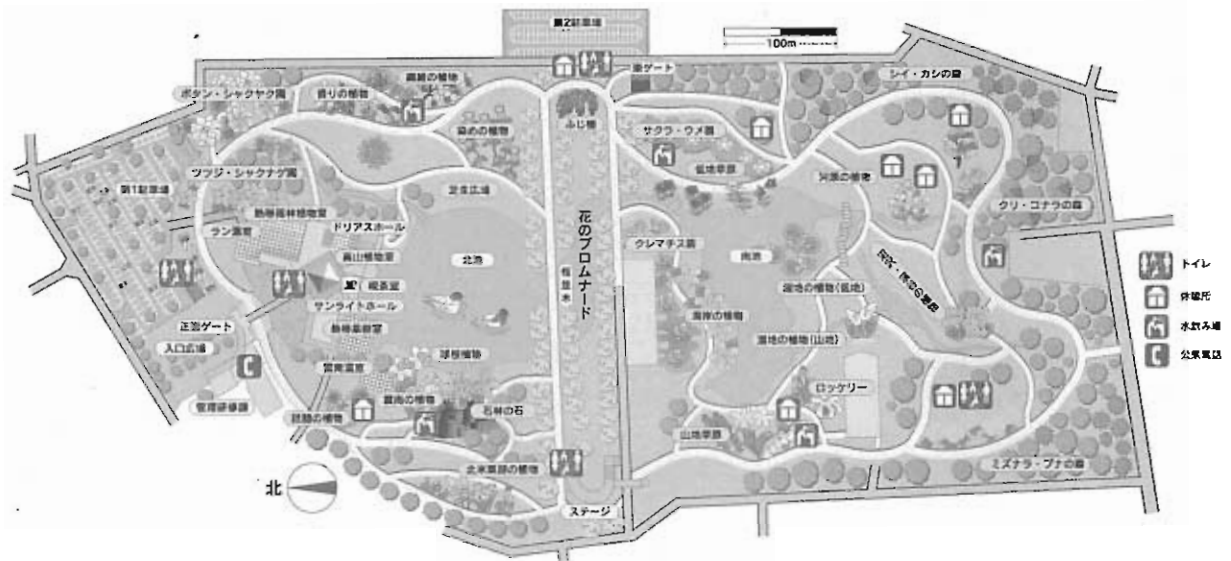
一般会員	908 名
賛助会員	30 名 (30 口)
特別会員	3 名
合計	941 名

## VII 参考資料

### 1. 施設概要

施設	着工～完成	面積 (㎡)	概要
屋外展示園	2.12～5.8	展示区域 16 (ha) 池 3 (ha)	世界の植物ゾーン、日本の植物ゾーン、花のプロムナード。観察用園路 5,400m。
管理研修棟	4.8～6.3	1,139	園長室、植物園管理室、(財)花と緑の銀行事務室、専務理事室、研修室、実習室、文献室、標本室、図書閲覧室、研究室、培養室、映像処理室、車庫、機械室他。
作業エネルギー棟	4.8～5.1	171	ボイラー室、作業庫、休憩室他
栽培温室 (5棟)	第1期 4.8～5.1 第2期 5.8～6.1	熱帯温室 302 温帯温室 113 暖温帯温室 302 冷室 151 雲南温室 208	
第一駐車場	4.8～5.1	11,600	332台収容
第二駐車場	8.2～8.4	3,444	150台収容
屋外便益施設	4.8～6.1	のべ 393	5棟
サンライトホール	5.8～6.8	1,046	企画展示スペース、休憩用ベンチ
エネルギー棟	5.8～6.8	568	展示温室用灯油ボイラー、変電設備、自家発電機、中央監視室他
展示温室 (5棟)	第1期 5.8～7.1 第2期 6.7～7.6 第3期 7.3～8.3 第4期 10.10～12.3	ラン温室 400 熱帯雨林植物室 890 熱帯果樹室 587 高山植物室 300 雲南温室 (温) 313 (温冷) 223	
正面ゲート	7.3～7.9	171	
雲南コーナー	7.9～8.3	1,500	石林の石 500t、中国雲南省産の植物
外構、入口広場	7.9～8.3		
東ゲート	7.12～8.3	27	
ドリアスホール	14.9～15.3	155	休憩室、図書閲覧

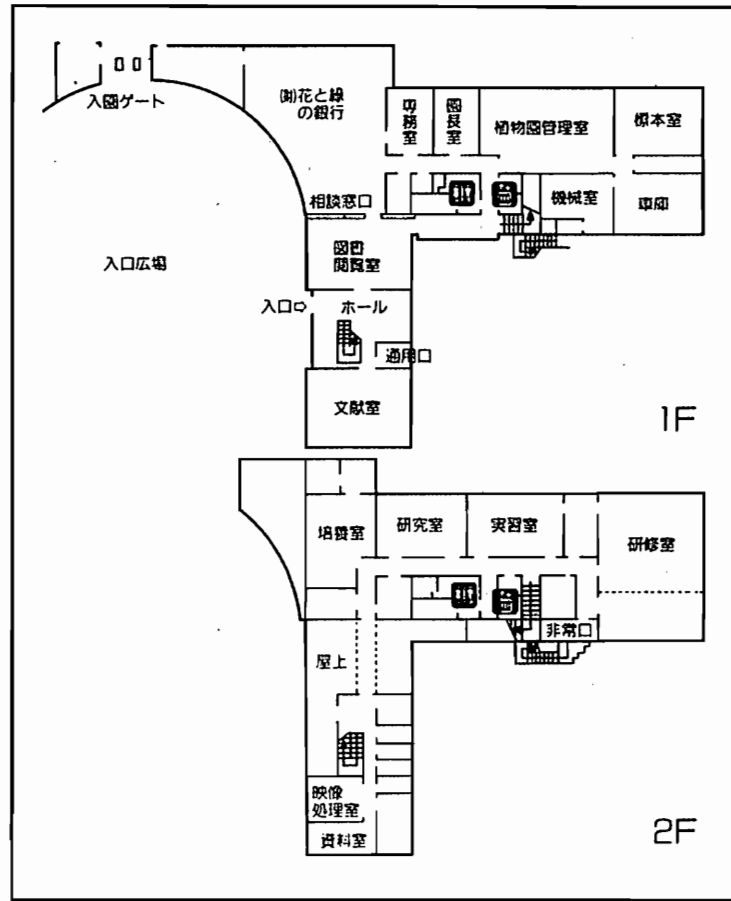
## 2. 施設平面図



植物園平面図



サンライツホール・温室平面図



管理研修棟平面図

3. 整備事業費

単位：百万円

区分	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	小計	H10~11	H14	小計	合計
設計監理	26	88	52	21	90	11	9	297				297
造園工事		716	508	732		91	45	2,092				2,092
植栽工事		34	40	301	40	89	162	666				666
建築工事				863	1,034	1,120	811	3,828	*204	**40	244	4,072
備品			2	92	13		74	181				181
用地取得		977	959	32			74	2,039				2,039
雲南植物					10	3	10	23				23
石林の石						11	105	116				116
合計	26	1,815	1,561	2,041	1,187	1,325	1,287	9,242	204	40	244	9,486

\*雲南温室、\*\*多目的小ホール(ドリアスホール)

4. 利用統計 (※平成 17 年 4 月 1 日より高校生以下は入園料無料)

(1) 平成 19 年度月別入園者数 (有料)

区分 (月)	個人	団体	友の会	特別観覧*		合計
				個人	団体	
4	5,397	346	421	—	—	6,164
5	5,385	832	465	—	—	6,682
6	1,664	768	237	—	—	2,669
7	1,274	711	220	408	143	2,756
8	1,104	358	145	304	79	1,990
9	1,686	499	222	—	—	2,407
10	1,249	316	263	—	—	1,828
11	1,664	289	270	—	—	2,223
12	550	146	175	53	10	934
1	631	7	195	—	—	833
2	3,066	67	301	—	—	3,434
3	5,862	114	569	—	—	6,545
合計	29,532	4,453	3,483	765	232	38,465

\* ゲッカビジン観賞 (平成 19.7.1 ~ 7.2)、夜間開園「夜の温室植物」(平成 19.8.14 ~ 15)、サマーナイトフェスタ (平成 19.8.25 ~ 26)、クリスマスフェスタ (平成 19.12.15 ~ 16)

(2) 平成 19 年度月別入園者数 (無料)

区分 (月)	減免		小学生 中学生	乳幼児	その他	無料合計	
	一般 大学	引率				大人	小人
4	32,534	378	3,243	4,368	245	33,157	7,611
5	379	581	1,579	757	377	1,337	2,336
6	139	286	588	649	307	732	1,237
7	100	241	521	312	187	528	833
8	31	123	762	375	169	323	1,137
9	135	262	333	715	576	973	1,048
10	100	344	900	819	143	587	1,719
11	114	304	791	594	230	648	1,385
12	46	169	203	262	68	283	465
1	43	101	94	434	13	157	528
2	119	164	336	462	1,278	1,561	798
3	342	334	386	752	594	1,270	1,138
合計	34,082	3,287	9,736	10,499	4,187	41,556	20,235

(3) 平成 19 年度月別入園者総数

区分 (月)	総計		
	大人	小人	合計
4	39,321	7,611	46,932
5	8,019	2,336	10,355
6	3,401	1,237	4,638
7	3,284	833	4,117
8	2,313	1,137	3,450
9	3,380	1,048	4,428
10	2,415	1,719	4,134
11	2,871	1,385	4,256
12	1,217	465	1,682
1	990	528	1,518
2	4,995	798	5,793
3	7,815	1,138	8,953
合計	80,021	20,235	100,256

## (4) 全面開園 (平成8年) 後の入園者数

年度	有料入園者		無料入園者		合計		総計
	大人	小人	大人	小人	大人	小人	
8	126,144	11,172	7,307	20,704	133,451	31,876	165,327
9	72,376	5,455	3,414	13,658	75,790	19,113	94,903
10	50,346	3,723	3,282	9,859	53,628	13,582	67,210
11	44,346	2,752	3,503	7,250	47,849	10,002	57,851
12	38,288	2,337	4,835	9,475	43,123	11,812	54,935
13	34,465	2,360	4,703	8,223	39,168	10,583	49,751
14	34,311	794	4,440	9,726	38,751	10,520	49,271
15	29,102	501	27,090	14,537	56,192	15,038	71,230
16	31,204	400	24,961	13,867	56,165	14,267	70,432
17	34,672	—	25,316	15,947	59,988	15,947	75,935
18	39,959	—	26,674	17,713	66,633	17,713	84,346
19	38,465	—	41,556	20,235	80,021	20,235	100,256
累計	573,678	29,494	177,553	161,194	751,231	190,688	941,919

## (5) 全面開園 (平成8年) 後の研修室等利用団体数 (人数)

年度	研修室			実習室 (研修室併用を含む)	ドリアスホール	合計
	第1	第2	第1+第2			
8	31 (1,064)	4 (60)	25 (1,001)	1 (50)	—	61 (2,175)
9	43 (1,336)	7 (138)	12 (445)	4 (483)	—	66 (2,402)
10	21 (630)	4 (51)	29 (967)	3 (20)	—	57 (1,668)
11	20 (602)	6 (88)	27 (970)	8 (210)	—	58 (1,753)
12	26 (739)	5 (80)	7 (319)	5 (76)	—	41 (1,192)
13	23 (620)	11 (143)	12 (630)	5 (114)	—	48 (1,507)
14	10 (179)	4 (43)	7 (337)	1 (9)	—	22 (568)
15	3 (79)	7 (82)	1 (78)	1 (70)	69 (4,103)	81 (4,412)
16	10 (206)	4 (76)	1 (70)	1 (15)	118 (5,094)	134 (5,461)
17	5 (76)	10 (126)	5 (271)	0	89 (3,825)	109 (4,298)
18	16 (509)	13 (162)	3 (94)	5 (171)	121 (5,920)	158 (6,856)
19	23 (670)	22 (295)	6 (349)	6 (235)	121 (5,228)	178 (6,777)

※ドリアスホールは平成15年3月に完成。

## (6) ホームページへのアクセス件数 (重複を除いた件数で表示. 開設: 平成12年9月24日)

年度	アクセス件数
平成13年度	8,520
平成14年度	11,282
平成15年度	15,365
平成16年度	18,012
平成17年度	25,676
平成18年度	28,326
平成19年度	33,936

## 5. 例規 (平成 18 年 3 月 31 日現在)

### ● 富山県植物公園条例 (抜粋)

公布 平成 5 年 9 月 30 日 富山県条例第 54 号

改正 平成 8 年 3 月 27 日 富山県条例第 14 号

平成 9 年 3 月 26 日 富山県条例第 3 号

平成 17 年 3 月 25 日 富山県条例第 66 号

#### (目的)

第 1 条 この条例は、富山が誇る豊かな植生等の自然環境を活用して総合的な植物公園の形成を図ることにより、県民に植物に関する多様な学習と憩いの場を提供し、もって県民の教育及び文化の向上並びに福祉の増進に寄与することを目的とする。

#### (県の責務)

第 2 条 県は、前条の目的を達成するため、植物公園の中核となる施設として富山県中央植物園を設置し、当該施設と県、市町村が設置する植物に関する展示等を行う施設との連携及びこれらの施設の利用の増進について必要な措置を講ずるものとする。

#### (設置)

第 3 条 県民に対し植物に関する総合的な知識の普及等を行うとともに、県内の植物に関する展示等を行う施設 (以下「植物展示施設」という) と連携を図るため、富山県中央植物園 (以下「中央植物園」という。) を設置する。

#### (位置)

第 4 条 中央植物園は、富山市に置く。

#### (事業)

第 5 条 中央植物園は、次に掲げる事業を行う。

(1) 植物及び植物に関する資料を収集し、保存し、展示すること。

(2) 植物に関する専門的な調査研究を行うこと。

(3) 植物に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。

(4) 中央植物園及び植物展示施設の利用の増進を図るために必要な連絡調整、技術指導、情報の提供等を行うこと。

(5) 前各号に掲げるもののほか、中央植物園の設置の目的を達成するために必要な事業。

#### (指定管理者による管理)

第 5 条の 2 知事は、地方自治法 (昭和 22 年法律第 67 号) 第 244 条の 2 第 3 項の規定により、法人その他の団体であって知事が指定するもの (以下「指定管理者」という。) に中央植物園の管理を行わせるものとする。

#### (指定管理者が行う業務)

第 5 条の 3 前条の規定により指定管理者に行わせる管理の業務は、次に掲げる業務とする。

(1) 中央植物園の施設及び設備の維持管理に関する業務

(2) 第 5 条第 1 号から第 4 号までに掲げる事業に関する業務

(3) 第 8 条第 1 項の規定による使用の承認に関する業務

(4) 第 10 条第 1 項に規定する使用料の徴収に関する業務

(5) その他中央植物園の管理に関して知事が必要と認める業務

#### (休園日)

第 5 条の 4 中央植物園の休園日は、次に掲げる日とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、知事の承認を得て、休園日以外の日に休園し、又は休園日に開園することができる。

(1) 木曜日 (その日が国民の祝日に関する法律 (昭和 23 年法律第 178 号) に規定する休日にあたる場合を除く。)

(2) 12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日までの日

#### (開園時間)

第 5 条の 5 中央植物園の開園時間は、午前 9 時から午後 5 時まで (1 月 5 日から同月 31 日まで及び 11 月 1 日から 12 月 27 日までの期間にあっては、午前 9 時から午後 4 時 30 分まで) とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、知事の承認を得て、これを臨時に変更す

ることができる。

(入園の拒否及び制限)

第6条 指定管理者は、中央植物園に入園しようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入園を拒否することができる。

- (1) 中央植物園の秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設、付属設備、植物又は植物に関する資料(次条第1項において「施設等」という。)を汚損し、又は損傷するおそれがあるとき。

2 知事は、中央植物園の管理上必要があると認めるときは、入園を制限することができる。

(遵守事項等)

第7条 中央植物園に入園したもの(以下この条において「入園者」という。)は、次に掲げる事項を守らねばならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

- (1) 他の入園者に迷惑となる行為をしないこと。
- (2) 施設等を汚損し、又は損傷しないこと。
- (3) 施設等を汚損し、若くは損傷するおそれのある物品又は動物若くは植物を持ち込まないこと。
- (4) その他知事が特に指示した事項

2 知事は、入園者が前項の規定に違反したときは、その者に退園を命ずることができる。

(専用使用の承認)

第8条 中央植物園の施設のうち別表に掲げるものを専用して使用しようとする者は、あらかじめ、指定管理者の承認を受けなければならない。

2 略

3 略

(使用料)

第9条 中央植物園に入園しようとする者及び前条第1項の承認を受けた者(第13条において「専用使用者」という。)は、それぞれ別表に定める金額の入園料又は専用使用料を納めなければならない。

2 中央植物園において特別に展示している植物または植物に関する資料を観覧しようとする者は、1,000円の範囲内で知事が定める金額の特別展示観覧料を納めなければならない。

(使用料の徴収方法)

第10条 入園料、専用使用料及び特別展示観覧料(以下「使用料」という。)は、知事の発行する納入通知書により徴収する。ただし、これにより難いばあいにおいては、口頭又は掲示の方法により現金で徴収する。

2 使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(使用料の減免)

第11条 知事は、特別の理由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(使用料の還付)

第12条 既に納入した使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(専用使用の承認の取消し等)

第13条 略

(県有の植物展示施設に対する措置等)

第15条 知事は、県有の植物展示施設のうち、その特色にかんがみ中央植物園と有機的かつ一体的に機能させ、及び利用の増進を図ることが適当であると認められるものを定め、そのために必要な措置を講ずるものとする。

2 知事は、前項の施設を定めたときは、その名称、所在地その他必要な事項を告示しなければならない。

(市町村等の植物展示施設との連携等)

第16条 中央植物園及び前項の施設は、市町村その他の公共団体又は公共的団体が設置する植物展示施設と有機的かつ一体的な利用が図られるよう、これらの施設との密接な連携に努めるものとする。

2 知事は、前項の植物展示施設の設置者の求めに応じて、同項の規定の趣旨を達成するために必要な助言を行い、又は援助の措置を講ずることができる。



(情報の提供)

第17条 知事は、植物展示施設その他関係機関等の協力を得て、植物公園等に関する情報を収集し、県民に対し、これを適切に提供するように努めるものとする。

(規則への委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附則 平成17年3月25日の改正のうち、指定管理者制度に係る部分は平成18年4月1日施行。

別表(第8条、第9条関係)

1 入園料

区分	単位	金額	
		個人	20人以上の団体
一般及び大学の学生	1人1回につき	600円	480円

2 専用使用料

種別	使用時間区分による金額			超過料金1時間の金額
	9時から16時30分まで	9時から12時まで	13時から16時30分まで	
第1研修室	5,990円	3,000円	3,500円	1,000円
第2研修室	3,000円	1,500円	1,750円	500円
実習室	4,200円	2,100円	2,450円	700円
催し広場	3,720円	1,890円	2,190円	610円

備考

- 1 使用時間1時間未満の端数は、1時間として計算する。
- 2 使用時間を短縮した場合においても、専用使用料は、減額しない。

● 富山県植物公園条例施行規則(抜粋)

公布 平成5年10月1日 富山県規則第56号

改正 平成14年3月20日 富山県規則第8号

平成18年3月31日 富山県規則第51号

(趣旨)

第1条 この規則は、富山県植物公園条例(平成5年富山県条例第54号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(専用使用の承認申請)

第2条 条例第8条第1項の承認を受けようとする者は、専用して使用しようとする日(次条において「専用使用日」という。)の3月前から前日までの間に富山県中央植物園施設専用使用承認申請書(様式第1号)を指定管理者に提出しなければならない。

(専用使用の変更等)

第3条 略

(原状回復及び点検)

第6条 略

(施設等の汚損又は損傷の届出)

第7条 略

(細則)

第8条 略

附則 略

様式第1号 略

様式第2号 略

## VIII 栽培記録

### 1. 平成 19 年度に始めて開花、結実した植物

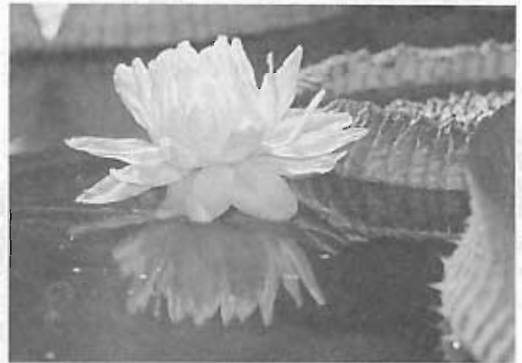
パラグアイオオオニバス *Victoria cruziana* Orb.

オオオニバス属 *Victoria* は熱帯南アメリカに分布し、オオオニバスとパラグアイオオオニバスの 2 種があります。日本の植物園などでは、オオオニバス *V. amazonica* (Poepp.) J. De C. Sowerby とパラグアイオオオニバスの人工雑種であるロングウッドが広く栽培されています。どれも直径 1 m を超える巨大なお盆状の浮葉をつけることで有名な巨大水生植物で、葉の浮力は 100kg を超え、小学生が乗っても沈みません。平成 19 年度には富山県中央植物園ではパラグアイオオオニバスの栽培に成功し、最大直径 125cm に達する葉を展開しました。

富山県中央植物園では「パラグアイオオオニバスの試乗会」を実施したところ、20 名の子供たちが参加し、パラグアイオオオニバスの葉に乗って頂きました。最初は、不安定な水面に浮く葉に乗ることを躊躇し、緊張で顔がこわばっていた子供たちも「生きた植物の葉に乗っている」という不思議な感触を楽しんでいました。その様子は「スイレンの葉に乗っているカエル」のようでした。

パラグアイオオオニバスは巨大な葉を水面に展開することで有名ですが、花も葉同様に大味で、直径 25cm の純白の花を夜咲かせます。花は 2 晩に渡って開花し、初日の夕方花が開くと周囲にパイナップルに似たトロピカルな香りを漂わせます。そして翌朝には閉じ、夕方には再度開花します。2 度目の開花では花の中心が薄っすらとピンク色に染まり、とても綺麗です。

オオオニバス属は多年草ですが、冬寒くなる富山県では 11 月には枯れ、生育期間は 4 月～10 月の 7 ヶ月間です。そのため、毎年種から育てています。その生育の速度は驚異的でパチンコ玉大の種子が 7 ヶ月の間に、直径 1m を超える葉を 15 枚程度展開させまでに至ります。そのため大食いで、植えられている鉢の半分は肥料で、一株あたり発酵油かす 10kg も投入します。また巨大な葉を四方に展開させるために、パラグアイオオオニバス一株あたり 5 × 5 m の面積を覆ってしまい、他の水生植物は追いやられる格好となるため、富山県中央植物園ではオオオニバス専用の展示池を設置し、この巨大な葉を持つ不思議な植物を間近で観察できるように工夫がなされています(温室課 兼本 正)。



パラグアイオオオニバスの花



パラグアイオオオニバスの葉に試乗した子供

富山県中央植物園事業概要 第10号(平成19年度)

---

平成20年5月31日発行

編集兼発行:富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

発行所:財団法人花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

印刷:株式会社モトヨシ美術印刷

---

